

これからも地域医療の充実に貢献していきます

理事長 貞方 洋子

直近の病院概要とことし一年間の職員の研究業績及び患者統計等を編集した平成26年度の年報が出来上がりましたので皆さまにお届け致します。どうぞご査収下さい。ことしも多くの医療機関からたくさんの患者さんをご紹介していただきました。本当にありがとうございました。

さて、平成26年度は、南風病院にとって創立60周年という記念すべき年にあたって様々な取り組みを行いました。その一つが、病院のコア機能である「がん医療」について、広く市民の皆さんへ最新医療の動向をお伝えすることを目的に、秋に開催した「市民医療フォーラム」です。南風病院を代表する5大がんの専門医によるショートレクチャーと特別ゲストとして医療ジャーナリストの鳥越俊太郎氏の講演「がんと共に生きる」を企画しました。当日は1000名に近い大勢の市民の方が参加され、反応も上々でした。この場をお借りしてご参加頂きました皆さまへ感謝の気持ちを述べさせていただきます。

また、今年の10月には、創立60周年記念事業の一環として進めている東館が完成します。建物は地上5階建てで、既存の薬剤部、リハビリテーション室、化学療法室が機能を拡張して移転します。3階の手術室にはロボット手術の導入も予定しています。さらに4階には、創設者・川井田多喜の名前にちなんで地域住民にも開放予定の“多喜ホール”を計画しています。

今後とも皆さまが安心して患者さんをご紹介していただけるよう、職員一同、いま以上に研鑽を積み、病病・病診連携を図りながら、これからも地域医療支援病院として地域医療の充実に貢献して参りたいと考えています。引き続きのご支援とご指導の程、よろしくお願い申し上げます。



Nanpuh Hospital